

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

彩の国東大宮メディカルセンターでは、当院の倫理・臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡ください。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意志であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。

研究課題名 (研究番号)	NIRS (近赤外分光法) を用いた組織酸素飽和度の検証について(No.79)
研究申請者または責任者 (所属)	長谷川 光輝(リハビリテーション科)
研究等の概要	<p>近赤外光は生体透過性に優れ、これらを用いた近赤外分光法は非侵襲生体測定法として既存の酸素モニターに使用される。今回使用を検討している機器は医療機器認定 (パルスオキシメーター) を受けている機器となる。リハビリ室や ICU などでの機能回復のためのリハビリテーションにおいて、近赤外分光法を利用して、生体組織の血液中の組織酸素飽和度 (rSO₂)、各ヘモグロビン指数、動脈血酸素飽和度 (SpO₂)、脈拍数をリアルタイムに計測し、患者の状態を適切に把握することが可能であり、安全な離床判断の期待がされる。データは患者の前頭部に装着した機器に表示されるほか、Bluetooth 機能を使用して PC 内に各パラメータが記録される仕組みとなる。</p> <p>対象は ICU 入室者 (特に初回離床患者や Epi 使用中の離床患者)、主冠動脈の閉塞や BAD 型の虚血性脳梗塞例、起立性低血圧を呈す例など想定している。使用を検討している診療科の医師に機器の説明を行い、患者への使用の許可をいただいた後計測を行う。</p> <p>使用にあたっては患者または家族に侵襲性がないことを口頭と書面にて説明し、同意が得られた者を対象にデータの収集のみを行う。目標症例数は 5~10 例。同意が得られたデータに関しては学会発表など学術活動に活用していく。</p>
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

問い合わせ窓口

倫理・臨床研究審査委員会 臨床研究事務局
電話：048-665-6111(代表)